

〈令和6(2024)年度〉
西部地区社会教育行政職員等研修講座兼西部管内指導主事等会議
令和6(2024)年9月12日



これからの教育が目指す方向性や ウェルビーイングの実現の理念に向けた 学校・地域の在り方等について

杏林大学客員教授
文部科学省中央教育審議会委員
前東京都三鷹市長

清原慶子

三鷹市の事例：「コミュニティ・スクール」を基盤とした小中一貫教育

平成15(2003)年市長の公約：公教育として小学校から
中学校への移行を円滑にする「小中一貫教育」の実現を

- ◆質の高い教育の提供をどの学校においても保障する(義務教育9年間に責任をもつ)
- ◆地域全体で『共に』子どもを育てる



三鷹市自治基本条例 平成18(2006)年4月施行

第6章「参加及び協働」第33条

- 保護者、地域住民等の学校運営への参加を進めることにより地域の力を活かし、創意工夫と特色ある学校づくり
- 教育委員会は地域及び市長と連携協力し「**学校を核としたコミュニティづくり**」を進めるものとする

【本講義の構成】

1. 教育がめざす【ウェルビーイング】の概念について
2. 教育を考える起点となる【人口構造等】について
3. これからの学校教育、生涯学習・社会教育をめぐる方向性について
最近の【中央教育審議会の諮問・答申等】から考える
4. 地域に開かれた教育、コミュニティ・スクールについて
5. ウェルビーイングの指標と調査について